

市P連発第 6-57号
令和 6年12月25日

甲府市教育委員会
教育長 松田昌樹様

甲府市小中学校PTA連合会
会長 相山恭子
同 育み委員会
委員長 猪俣叔海

学校給食・教育環境についての要望について

平素より、甲府市小中学校PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度から改称となった育み委員会では、以前の母親委員会から長年継続して行っている、学校給食をはじめとする「食」や学校・家庭における生活や子育てのあり方について学び、取り組んでおります。

今年度の活動の中から別紙の通り要望が出されましたので、今後も子どもたちのためにより良い学校教育環境であり続けられるようご検討をよろしくお願い申し上げます。

なお、要望事項について令和7年2月末日までに、文書をもってご回答くださいますようお願い申し上げます。

甲府市小中学校PTA連合会 事務局
〒400-0043
甲府市国母4丁目1-12
電話 055-222-3866
FAX 055-222-3889
Eメールアドレス info@ptakofu.org

【学校給食に関わる要望事項】

1. 給食費の無償化・公費負担の推進

現在、甲府市の子ども一人あたりの給食費は小学校が年間5万5000円、中学校が6万3000円になります。小中学校に兄弟がいる場合にはそれぞれに費用がかかり、保護者の大きな経済的負担となっています。

山梨県では2024年度の時点で、17の自治体が給食費の無償化、3つの自治体が期限つきで無償化、4つの自治体で一部助成を実施しています。「市町村によって給食費の負担に不公平が生じている」という保護者の声が多くあります。

甲府市においては、食材費の値上がりに対して物価高騰対策を実施。また、就学援助制度により給食費や学用品費などの支援を行っていただいておりますが、一部の家庭に限られています。

物価高騰が継続している中で、どの家庭においても養育費が家計に影響を及ぼしています。

様々な立場の方や団体が給食費の無償化について要望をしています。我々、市P連育み委員会から昨年度も同様の要望を提出させていただきましたが、実現には至っていません。保護者の経済的な負担が軽減されても、給食品数の減少や栄養面での偏りなど、そもそもの給食の質に影響が出るのであれば本意ではありません。私たち保護者もそのことを理解したうえで、少しでも負担の軽減につながるよう今一度ご検討いただきたいと思えます。

今年度も引き続き給食費の無償化・公費負担の推進を要望いたします。

2. 地元食材や旬の食材使用メニューの増加

山梨県にはたくさんの美味しい農畜産物があります。代表的なものとして、農産物ではスイートコーン・八幡芋・大塚人参・浅尾大根・鳴沢菜・柚子・クレソン、穀物では米（梨北米、武川米）・あけぼの大豆、畜産物では甲州牛・甲州ワインビーフ・富士桜ポーク・甲州地鶏、水産物では富士の介などが挙げられます。これらの山梨県産の食材や旬の食材をより積極的に使用してもらい、子どもたちに美味しくて安心安全な給食を食べてもらいたいと思います。給食でも食材の地産地消によって、子どもたちに地元食材の美味しさ、大切さ、生産者の思いなどを知ってもらい、家庭と共に食育の促進につなげていきたいと考えています。

物価高騰の中、難しい課題であるとは思いますが子どもたちの笑顔があふれ、給食を通じて郷土愛が育まれ、大きくなってからも美味しかった甲府市の給食の思い出が子どもたちの中に残るような学校給食の実現を要望いたします。

【教育環境に関わる要望事項】

1. 体育館へのエアコン設置

ここ数年の異常気象によって、学校現場では熱中症対策をとりながら教育活動を維持することに、苦勞されています。盛夏時の体育館は午前中のうちから極めて高温な状態となり、熱中症危険指数も毎日のように嚴重警戒となってしまうため、体育の授業や集会等で安全に使用することが出来ず、明らかに学習活動に支障を来しているといえます。

そこで、関東近県の公立学校においても対策が進みつつある、体育館へのエアコンの設置を要望します。

文部科学省の公立学校施設における空調（冷房）設備の設置状況調査令和6年9月1日現在の資料によると、都道府県別の冷房設備設置状況は甲府市において体育館では0%と全国平均の18.9%を大きく下回る状況となっています。体育館にエアコンが導入されれば、子どもたちは猛暑により校庭が使用できなくても、様々な学習活動を安全に行うことが出来ます。

体育館は、授業だけでなく集会や部活動、また、地区の文化祭やイベントなども行われ、有事の際の避難所開設においてベース基地となる場所でもあります。全国的にも公立学校の9割が被災時の避難所に指定されている中で、空調問題は課題となっています。それらの点を踏まえ盆地特有の地理的要因を考慮しても、体育館へのエアコン設置は喫緊の課題ではないかと考えます。

昨年度に引き続きご検討をよろしくお願いいたします。

2. 学校現場への人員（教職員・特別支援教育支援員・学習指導員・スクールサポートスタッフ・スクールカウンセラー・栄養教諭など）の増員

全国的に教職員不足や教職員の働き方改革の中、現場の先生方は子どもたちにしわ寄せがいかないようにという思いで子どもたちに接してくださっています。そういった状況の中でも、特別支援教育支援員や学習指導員が、子どもたちそれぞれの特性に合わせた配慮や個別の対応が必要な子どもに対してサポートをしてくださっていることで、先生方がスムーズに授業を進められています。また、スクールサポートスタッフにおいても事務や業務を担ってくださっていることで、先生方の業務負担の軽減につながっていると伺っています。

また、スクールカウンセラーにおいては、不登校や家庭環境の複雑な子どもたちの心のケアなど、また、栄養教諭は食の教育やアレルギーの対応などをそれぞれが専門的な視点で関わってくださっていますが、他校との兼任となると、学校内における子どもたちへの細やかで素早い対応等が難しい状況であると聞いています。

教職員の増員はもちろんのことですが、サポートスタッフ等すべての人員の増員が子どもたちにとってよりよい教育環境の実現につながっていくと考えます。

親と一緒にいる時間と同等の時間を学校で過ごす子どもたちのことを多くの目で見守っていただきたいと思います。多忙を極める先生方が、すべての子どもたちにきめ細やかな指導を充実させるために、学校現場への人員（教職員・特別支援教育支援員・学習指導員・スクールサポートスタッフ・スクールカウンセラー・栄養教諭など）の増員を要望します。